

## 第1回新城市若者議会

令和8年5月7日（木）午後7時から午後7時46分まで  
新城市議会 議場

開 会 午後7時00分

○牧野市民自治推進課長

市民自治推進課長の牧野でございます。  
議長が決まりますまで進行を務めさせていただきます。

ただいまから、令和8年度第1回新城市  
若者議会を開会いたします。

### 1. 辞令交付

○牧野市民自治推進課長

初めに、辞令交付を行います。委員の皆様  
お一人お一人に辞令を交付するのが本意で  
はございますけれども、代表の委員に交付  
いたします。御了解ください。

それでは、代表して、梅田倫之助委員に  
交付します。梅田倫之助委員、正面にお進  
みください。

○下江洋行市長

梅田倫之助様

新城市若者議会委員を委嘱する。

任期は令和8年4月1日から令和9年3  
月31日までとする。

令和8年4月1日

新城市長 下江洋行

よろしくお願ひします。

○牧野市民自治推進課長

ありがとうございます。なお、そのほ  
かの委員におかれましては、机の上に辞令を  
配布しておりますので、御確認をお願いいた  
します。

### 2. 市長あいさつ

○牧野市民自治推進課長

次に、新城市長下江洋行からごあいさつ  
を申し上げます。

○下江洋行市長

本日、第12期新城市若者議会の始まりを  
迎えるにあたり、皆さんとともに、この重要  
な節目を迎えることができ、大変うれしく思  
います。そして、若者議会に応募してくださ

いました皆さんに心より感謝を申し上げます  
とともに、歓迎いたします。よろしくお願ひ  
いたします。

先ほど梅田委員に代表して辞令交付をさ  
せていただきましたが、皆さんのところには  
お手元に辞令があると思います。これをもつ  
て皆さんは若者議会の一員となります。

昨年度、新城市若者議会は10周年とい  
う大きな節目の年を迎えまして、若者議会1  
0周年記念イベントを11月に開催しました。  
このイベントに参加して若者の実行力と熱意  
を感じて、大変心強く私も思ったところでご  
ざいます。そして今年度からは、第2次新  
城市若者総合政策の計画期間がスタートしま  
す。より一層若者の皆さんの意見を市政へ反  
映させていく重要な時期となります。若者議  
会の皆さんが多く、若者の声を反映した提  
案を行っていただき、よりよい新城市をつ  
くるために、力を尽くしていただけることを  
心より願っております。そして、この新た  
なスタートを切る今、私たち大人も皆  
さんを全力でサポートし、ともに歩んで  
参りたいと考えております。

最後になりますけれども、第12期の  
皆さんが積極的に意見を交わして、1年  
間の活動を通じ、成長、活躍される姿を  
楽しみにしております。そして、中間報  
告もありますけれども、11月の答申で  
若者の皆さんの斬新なアイデアをお聞  
きできることを心より期待してござい  
ます。1年間、楽しみながら、精一杯  
取り組んでいただきたいと思います。ど  
うぞよろしくお願ひします。

### 3. 若者議会議長選出、副議長指名

○牧野市民自治推進課長

次に、若者議会の議長の選出を行います。

新城市若者議会条例第5条第2項では、  
議長は委員の互選により定めることとな  
っております。

前もって議長立候補の申し出を受け付

させていただきましたところ、原将翔委員から申し出がありました。原将翔委員を議長に選任することについて、異議がなければ拍手をもって賛同をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございました。

異議なしと認めます。

また、新城市若者議会条例第5条第2項におきまして、副議長は議長が指名することとなっておりますので、あいさつに続きまして、副議長の指名をお願いしたいと思います。

それでは、原将翔議長、前の方へお進みください。

○原将翔議長

僕は新城地区に住む原将翔です。年齢は16歳です。

僕が若者議会に参加した理由は、自分の住んでいる地域をよりよくしたいという思いがあるからです。日常生活の中で、もっとこうなったらいいのと感じることがたくさんあり、それをただ思うだけではなく、自分の言葉で伝え、叶えて実現したいと考えました。また、同世代の意見や考えを聞き、多様な価値観を学び、自分自身の視野を広げることができると思いました。そして、将来、地域や社会に貢献できる大人になるための第一歩として、挑戦していきたいと思っています。

若者議会でやりたいことは、若者の意見を実際のまちづくりに反映させることです。特に若い世代が新城市に住み続けたいと思える環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。例えば、地域のイベントの活性化など、SNSを活用して情報発信をし、この新城市を知ってほしいと思っています。将来の自分がこの新城市にとって必要とされる人材へと成長したいと思っています。

最後になりますが、自分是人前で話すことがあまり得意ではないのですが、温かく見守っていただければ幸いです。

1年間よろしくをお願いいたします。

副議長は、梅田倫之助委員にお願いします。

○牧野市民自治推進課長

ありがとうございました。

続いて、梅田倫之助副議長、一言ごあいさつをお願いいたします。

○梅田倫之助副議長

ただいま御指名に預かりました、副議長の梅田倫之助です。原議長を支えるとともに皆様の力になれるよう精一杯努めて参ります。どうぞよろしく申し上げます。

○牧野市民自治推進課長

ありがとうございました。1年間どうぞよろしくをお願いいたします。

#### 4. 諮問

○牧野市民自治推進課長

続きまして、若者議会の体制も整いましたので、市長から若者議会への諮問を行います。

それでは、原議長は演壇の前をお願いいたします。

○下江洋行市長

新城市若者議会議長様

若者総合政策の実施に関する事項について(諮問)

このことについて、新城市若者議会条例第2条に基づき、下記の事項について、若者議会の意見を求めます。

1 諮問事項 若者総合政策の実施に関する事項について

2 答申期限 令和8年11月30日

新城市長 下江洋行

よろしく申し上げます。

○牧野市民自治推進課長

ありがとうございました。

それでは、これから1年間、この諮問書に基づきまして、取り組みをお願いいたします。

これより新城市若者議会条例第6条第1

項の規定により、原議長に進行をお願いいたします。では、原議長、よろしくお願いいたします。

## 5. 所信表明

### ○原将翔議長

それでは、所信表明を行います。

若者議会委員及び若者議会市外委員お一人ずつ所信表明をお願いしたいと思います。

初めに、梅田倫之助委員、お願いします。

### ○梅田倫之助委員

私は千郷地区に住む梅田倫之助、16歳です。

昨年度も若者議会に参加し、新城市の課題について話し合いました。その中で、以前までは自分が住んでいるまちという感覚しかありませんでした。しかし、若者議会を通じて、新城市について深掘りしていくにつれ、今まで知らなかった地元の魅力を知り、新城市に愛着や誇りを持てるようになりました。今年度は、新城市っていいなという気持ちを、自分だけでなくより多くの人に感じてもらえるようにしていきたいです。

また、昨年度は、先輩の方々にいろいろ教えてもらいながら議会に参加していました。今年度は昨年度の経験で身につけた議会の進め方やコミュニケーションの大切さを生かし、自分が議회를引っ張っていけるように頑張っていきます。

1年間よろしくお願いいたします。

### ○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、小林美月委員、お願いします。

### ○小林美月委員

私は豊川市に住む小林美月です。年齢は16歳です。

私は、東三河を活気溢れる地域にしたいと考えており、その第一歩として、若者議会に参加しました。

まず、若者議会を知ったきっかけは、去

年の冬に高校で配られたチラシです。そのチラシを見て、新城はこのような取り組みをしているのを知り、活気溢れる地域づくりに貢献したいと思うようになりました。

この若者議会でやりたいことは2つあり、1つ目は、市内の人だけでなく、市外の人にも関心を持ってもらうために、東三河全体で楽しめるようなイベントを開催することです。このイベントを通して、小さい子からお年寄りまでの交流をつくりだし、新城市内だけでなく、東三河全体が活性化していけるようにしたいと考えています。

2つ目は、他の市の若者議会と繋がりを持ち、情報共有などの交流を通して、お互いに学び合い、連携を取ることです。そうすることで、視野や活動の幅を広げられると考えました。

今回、若者議会に参加するのが初めてなので、うまくいかない部分のほうが多いと思いますが、この1年、精一杯頑張ります。

よろしくお願いいたします。

### ○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、保田莉瑚委員、お願いします。

### ○保田莉瑚委員

私は豊川市に住む保田莉瑚です。年齢は16歳です。私は新城市をより豊かにし、魅力を知ってもらいたいと思い、若者議会に参加しました。

この若者議会で、私の行いたいことは2つあります。

1つ目は、イベントやお祭りなどを通して、地域の活性化をすることです。その地域の特色を生かしたイベントを行うことで、地域の良さを伸ばし、幅広い年代の人たちが交流する機会をつくることができると思います。まずはイベントなど小さなことから進め、若者議会の活動をより知ってもらうこと、そして、人口減少などの課題、大きな問題を解決していくことが大切だと考えています。

2つ目は、豊川市に住む自分だからこそ  
の意見を出し、企画や活動に積極的に取り組  
むことです。私は生まれたときから豊川市に  
住んでおり、豊川市の不便さや良さを多く知  
っています。だからこそ、その良さや不便さ  
を、新城に生かせると考えています。例えば、  
イベントの種類、住みやすさ、どこが不便か  
など、新城市と比較することで、欠点や良さ  
をより鮮明に表すことができ、新城をより豊  
かに住みやすい場所にすることができると感  
じます。

また、若者議会に参加することができる  
ので、活動に積極的に参加し、企画を行うま  
での段取りや計画など、1歩1歩を大切にし  
ていきたいと思っています。

新城市をよりよくしていくため、全力を  
尽くして参ります。

1年間よろしくお願いします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、大塚柚姫委員、お願いします。

○大塚柚姫委員

私は豊川市に住む大塚柚姫です。年齢は  
16歳で新城有教館高校に通っています。

私が若者議会に参加した理由は、通学や  
日常生活の中で新城に関わる時間が多く、私  
にとって身近で大切な場所だと感じているか  
らです。住んでいるのは豊川市ですが、学校  
生活を送るなかで、新城のまちや人の温かさ  
に触れる機会が多く、自然ともっとこのまち  
をよくしたいという思いが生まれました。今  
新城に住んでいる若者が、将来もこのまちに  
住み続けたいと思えるような場所にしたいと  
思います。

新しく人を増やすことだけでなく、今い  
る人たちが新城を好きでい続けられることも  
とても大切だと感じています。そのためには、  
気軽に集まれるたまり場や、安心して過ごせ  
る遊び場など、若者にとって居心地のよい場  
所が必要だと感じています。そういった場所

があれば、もっと日常が楽しくなると思いま  
すし、地域への愛着も深まるのではないかと  
考えています。

これまでの学校生活ではクラスの委員会  
活動を通して、周りと協力しながら物事を進  
めることの大切さを学びました。その経験を  
生かしながら、若者の目線で意見を発信し、  
少しでも新城をよりよいまちにしていきたい  
です。また、他の参加者の方の意見にも積極  
的に耳を傾け、自分の考えを広げていきたい  
と思っています。そして、考えるだけで終わ  
らず、行動につなげていけるような人になり  
たいです。

よろしくをお願いします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、原瀬彩委員、お願いします。

○原瀬彩委員

私は豊川市に住む原瀬彩です。年齢は18  
歳です。

私が若者議会に参加したいと思った理由  
は、新城の歴史ある農業を守りたいと思った  
からです。

私は高校で農業を学んでいます。学校の  
地域交流で、こども農学校に参加する機会が  
あり、小学生と一緒に夏休み前などで田植え  
を行いました。緑豊かな山の斜面に石垣が広  
がり、張られた水が鏡のように、周囲の景色  
を映し出す。初めて見たとき、新城にはこん  
なにすてきな景色があるのかと強く感銘を受  
けました。そこから私は四谷の千枚田に興味  
を持ち、調べるようになりました。四谷の千  
枚田は、「日本の棚田百選」や「つなぐ棚田  
遺産」に選ばれており、多くの観光客が訪れ  
る観光地として人気である一方、獣害被害に  
よる食害や耕作放棄地が拡大していること、  
少子高齢化による担い手不足で維持が難しい  
ことなど、課題が多くあることを知りました。

その課題を解決するために、若者議会  
では、高校で学んだことを生かして、新城市の

農業の魅力を市内だけでなく、市外の若者にも発信し、興味を持ってもらう活動ができたらいいなと思っています。

1年間よろしくをお願いします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、日高愛母委員、お願いします。

○日高愛母委員

私は豊川市に住む日高愛母です。年齢は17歳です。

私が若者議会に参加した理由は、地域の未来を自分たちで考え、行動できる場に参加したいと思ったからです。

これまでの学びや経験を通して、地域には多くの魅力がある一方で、それが十分に生かされていないと感ずることがありました。だからこそ、誰かがやるのではなく、自分自身も関わりたいと考えたことが参加した理由です。

私は、日常の中に小さな豊かさがあることが、人の気持ちや地域への愛着に繋がると考えています。その1つが、花や植物の存在です。歩いているだけで、自然に花や植物が目に入る環境は、人の気持ちを少し前向きにし、このまちが好きだなと感ずるきっかけになると思います。新城市にはすでに自然の魅力がありますが、それをより身近に感ずられる形で広げていくことが大切だと考えています。また、海外では、花を日常的に取り入れる文化があることを知り、そのような考え方も参考にしながら、新城市でも植物がより身近な存在になるような取り組みを考えていきたいです。

若者議会では、若者だからこそ感ずける視点や発想を大切にしながら、自分の考えを形にしていきたいと思っています。そして、この経験を通して、将来も地域や社会に関わり続ける力を身につけていきたいです。

1年間よろしくをお願いします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、河合夏鈴委員、お願いします。

○河合夏鈴委員

私は新城市地区に住む河合夏鈴です。高校3年生の17歳です。

私は昨年度、若者議会に参加して、普段の生活では得られないような多くの経験ができました。特に印象に残っているのは、自分たちで考えた意見や提案が、実際に形となって実現していく様子を目にしたことです。それまで、私は自分たちの声が社会に届く実感をあまり持っていませんでした。ですが、その経験を通して、自分たちの考えにも価値があり、地域を動かす力になると強く感ずました。また、仲間と意見を出し合いながら1つの政策を作り上げていく過程も、とても貴重な学びとなりました。

こうした経験から、今年度も新城市のよりよい未来のために、自分なりに考え、積極的に意見を発信していきたいと思い、再び参加することを決めました。

これから1年間よろしくをお願いします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、高柳萌那委員、お願いします。

○高柳萌那委員

私は、東郷地区に住む高柳萌那です。年齢は16歳です。

私は日常生活の中で、若者が意見を発信する機会が少なく、若者の意見が反映されにくい状況にあると感ずていました。そこで、学校内に掲示されているポスターで若者議会の存在を知り、私も意見を発信させ、新城市をよりよくしたいと考え、参加しました。

私が取り上げたい政策は2つあります。

1つ目は、駅の待ち時間の有効活用の仕方です。今、私は東新町駅を利用していますが、電車は1時間に1、2本しか来ません。よって、待ち時間が発生します。この時間を他のものごとに割けるのではないかと感ずま

した。

2つ目は、土地の利用方法を見直すことです。新城市は広大な土地が広がっています。しかし、その土地を活用しきれていないと感じました。広大な土地は新城市の特徴であり、生かすべき点だと思います。

ですので、若者議会でこの2つの点について話し合い、新城市をより活性化させていきたいです。

1年間よろしくお願ひします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、青木太洋委員、お願ひします。

○青木太洋委員

私は新城市に住む青木太洋です。年齢は18歳です。

私が若者議会に参加した理由は、この新城市の魅力をSNSを通じて発信しようと思ったからです。この新城市は長篠設楽原の戦いで有名で、自分にできることは少ないですが、これから1年間頑張りたと思います。

よろしくお願ひします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、瀬野和奏委員、お願ひします。

○瀬野和奏委員

私は鳳来地区に住む瀬野和奏です。年齢は20歳です。

私は新城の若者を代表して、若者がもっと楽しく、地域に愛着を持って過ごせるまちを作っていきたいと考えています。

現在多くの若者が、進学や就職をきっかけに地元を離れています。その背景には、地域との関わりの少なさや、新城に行っても楽しいことがないと感じる人が多いこともあると思います。

私は若者議会の活動を通して、若者の声を積極的に地域に届け、若者自身が、このまちが好き、ここで挑戦したいと思える環境づくりに取り組みたいです。例えば、前年度若

者議会で話を進めていたチェーン店誘致や、他にも、若者にとってメリットとなるような政策を実施していきたいと考えています。また、若者の意見は大人に比べて軽く見られてしまうこともあると思いますが、実際に今の時代を生きている若者だからこそ、気づくことのできる課題や視点があります。

私は、同世代の思いをしっかりと届け、若者と地域をつなぐ存在として責任を持って活動していきます。

1年間よろしくお願ひします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、黒谷美空委員、お願ひします。

○黒谷美空委員

私は、東郷地区に住む黒谷美空です。年齢は17歳です。

私が若者議会に参加するきっかけとなったのは、毎月配布される広報しんしろを見ていて、出生数の減少や、転出者の増加により、人口が減り続けていることを知り、この先新城はどうなっていくのだろうかという不安を感じたことです。しかし、これまでの私は新城の問題について深く考えることもなく、ただ、日々を過ごしてきただけでした。だからこそ、この現状を受け止め、自分を変えていく立場になりたいと思い、若者議会に参加することを決意いたしました。

私が目指すのは、赤ちゃんからご高齢の方まですべての人々にとって、暮らしやすくなるように環境を整えること、また、一度新城を離れてしまった若者や市外の人たちにも、新城に来たいと思ってもらえるような仕組みを作ることです。そのためにできることを自分なりに考え、積極的に提案していきたいと思っております。

私1人ですぐに現状を変えることはできませんが、仲間とともに、新城のためにできることを真剣に考え、それがいずれ、新城にとって大きな良い変化をもたらすきっかけに

なるよう尽力して参ります。

1年間よろしく願いいたします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、菅沼希望委員、お願いします。

○菅沼希望委員

私は鳳来地区に住む菅沼希望です。高校2年生、16歳です。

私が今期若者議会に参加した理由は、昨年度の活動にあります。昨年度、新城市の特産品を多くの人に知ってもらい、付加価値や知名度を高めることで、来訪者を増やすことを目的に、YouTubeやInstagramで動画を投稿する取り組みを提案しました。その中で、自分の考えを形にする難しさや、どのようにすればターゲット層に届くのかを考える難しさを実感しました。この経験から、ただ発信するだけではなく、どのように伝えれば興味を持ってもらえるかを考えることの重要性を学びました。

今年度は、より多くの人に伝わる工夫も意識して活動していきます。特に、同世代の中学生や高校生にも若者議会に興味を持ってもらえるように、身近に感じられる発信を行っていきたくと考えています。

1年間よろしく願いします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、林茅咲委員、お願いします。

○林茅咲委員

私は鳳来地区に住む林茅咲です。高校2年生の16歳です。

私が若者議会に参加した理由は、地域の問題点などについて意見を出し合い、様々な方との話し合いを通して、自分自身のスキルアップにつなげたいと考えているからです。また、活動を通して新城市の魅力を市外、県外の方にもっと知っていただき、訪れてみたいと思ってもらえるきっかけをつくりたいという思いから参加を決めました。

新城市の魅力を知ってもらうために、具体的な活動例として、若者の視点から、SNSなどで映える動画発信といったことを考えています。

若者目線だからこそ、同世代に響きやすいという視点を生かし、新城市に興味を持ち、訪れてみたいと思う人を増やすことで、地域のにぎわいづくりと魅力発信に貢献していきたいと考えています。

最後になりますが、委員の皆さんと新城市をよくしていきたいと思っています。

1年間よろしく願いいたします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

なお、片山結翔委員については、都合により欠席されています。

それでは、若者議会委員に引き続き、若者議会市外委員、所信表明をお願いします。

それでは、富田圭亮市外委員からお願いします。

○富田圭亮市外委員

私は豊橋市に住む市外委員の富田圭亮です。高校3年生の17歳です。

私が若者議会に参加したきっかけは、SAN-ENマルシェという、豊橋駅周辺のまちなか活性化のイベントの企画運営をたった1人で行ったことからです。奥三河の核となる新城市をもっとよくしたいと思ったからです。

マルシェ運営を続ける中で強く感じたのは、地域にはたくさんの魅力がある一方で、その魅力を知ってもらう機会や、人と人が繋がる場が、まだまだ必要だということです。実際にマルシェを開催すると、小さな子どもから高齢の方まで、本当に幅広い世代の方が来場してくださいました。ステージイベントで盛り上がる方や、地域のお店や、活動を知って興味を持ってくださる方がいたりして、地域イベントには人と人をつなぐ力があるなと実感いたしました。そこで、若者議会では、

このSAN-ENマルシェの経験を生かして、イベントの企画や運営、そして、実施を行いたいと考えております。また、イベント運営を通して、多くの方の支えがあって、地域活動は成り立っていることも学びました。出店者の方、協力してくださる地域の方々、そして来場してくださる皆様など、本当に多くの人の思いが詰まって、1つのイベントが出来たのだと感じております。

私は若い世代だからこそできる発信や、新しい視点があると思っております。特に、SNSを活用した情報発信は若者だからこそ得意な部分でもあると思います。若者が地域活動にもっと気軽に参加できる環境を作り、地域に関するきっかけを増やしていきたいです。

また、私は市外委員という立場ではありますが、外から見ることで気づける新城市の魅力もたくさんあると感じております。

まだまだ未熟ではありますが、1年間どうぞよろしく願いいたします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、戸塚琉愛市外委員、お願いします。

○戸塚琉愛市外委員

私は静岡県の袋井市に住む戸塚琉愛です。今、大学3年生で21歳です。

私は昨年度に引き続き、市外委員として、新城市若者議会に参加させていただきます。

昨年参加した当初は、新城市の魅力をもっと多くの人に広げたいという思いが強くありました。しかし、若者議会で活動していく中で新城市について深く知り、自分たちで政策を考え、実行していく過程に大きなやりがいと楽しさを感じました。活動を通して新城市をもっと深く知りたい、そして自分自身もこのまちに関わり続けたいという思いが強くなりました。

現在新城市では、人口減少や若者の流出が課題となっています。だからこそ、若者が

新城市に住み続けたい、もっと新城市を好きになれる政策を考えていきたいです。

また、私は市外委員という立場だからこそ見える視点を大切にしたいと考えています。他の地域との違い、共通点を比較しながら、新城市の魅力や課題を客観的にとらえ、新しい発見や意見を提案していきたいです。

さらに、大学では地域政策について学んでいます。その学びも生かしながら、若者ならではの視点で意見交換を重ねていきたいと思っています。

1年間責任を持って、新城市について真剣に考え、積極的に活動していきます。

よろしく願いいたします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

次に、片桐萌絵市外委員、お願いします。

○片桐萌絵市外委員

広島県東広島市に住んでいます。市外委員の片桐萌絵と申します。年齢は21歳です。

私自身も気づけば、大学4年生になって、どこで働くのか、そしてどのように地域で暮らしていくのか、自分自身の進路と将来を考える当事者になりました。私のように進学や就職をきっかけに、地元新城市を離れた方々が、どうやったら新城市と接点を持ち続けられるのか、そしてどうしたら、新城市にまた戻ってこれるのか、そんなことを自分ごととして考えながら取り組みたいと思っております。

多様なバックグラウンドを持つ若者議会のメンバーとともに一緒に学びながら、大好きな新城市を盛り上げていけるように頑張ります。

以上です。1年間よろしく願いいたします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

なお、今泉翔帆市外委員については、都合により欠席されています。

この19人で答申に向けて第12期若者議会一丸となって活動していきたいと思いません。

## 6. 市議会議長あいさつ

### ○原将翔議長

本日はお忙しい中、御出席をいただきました新城市議会議長佐宗龍俊様からごあいさつを賜ります。佐宗市議会議長、お願いします。

### ○佐宗龍俊市議会議長

改めまして皆さんこんばんは。新城市議会議長の佐宗龍俊と申します。

令和8年度の新城市若者議会の委員の皆さん、第12期なんですね。本当に、この若者議会に参加をしていただいております。

私が皆さんの世代のときにこうやってまちのことを考えていたかなと思うと、全く考えていなくて、本当に自分がやりたいことをやっていて。私は作手村なんですけれども、作手村がどうなったらよくなるんだろうとか、そんなことは、本当に少しも考えていなかったなど。今思うと、皆さんと私の若い世代の頃の立ち位置の違いというのを非常に痛感しております。私ももっと皆さんのように、その地域のことをその年代のときから考えていけば、もっとよかったのかなと思っております。ただ、皆さんもあまり肩肘張らずに、本当に皆さんが思っている、この新城の課題だとか問題点だとか、ここをこうしたらもっとよくなるのになというところを、素直に出していただければいいかと思っております。

ただ今、皆さんからそれぞれ所信を聞かせていただきました。「私はこういうことをしたいんです。」「私はこういうところが問題だと思うからこういうことを考えていきたい。」というお話を皆さんから聞きました。でも、この1年間でできることというのはそんなにたくさんはないと思いません。

この新城市の若者議会というのは、全国から注目をされています。何がそんなに注目されているかというのは、全国にたくさんあるんです。若者議会だとか、中学生議会だとか、いろいろとあるんですが、他のところはどちらかというと皆さんの意見を市長に提案してそれで終わりというところが多いんですけども、新城市の場合は皆さんが、皆さんの多くの意見を寄せ合って、そしてみんなで議論をして、若者議会としてどういう施策をしていくのか、具体的にどういう事業をするのかということを決めてもらいます。例年という、3つぐらい事業を皆さんが決めて、これをやるんだと、それに対して市が予算をしっかりとつけて、市がそれを実行する、ということなんです。

だから、皆さんが考えた事業に市のお金を使うんです。そして、その結果を市民の皆さんが評価するんです。市民の皆さんだけじゃないですけどね。まずは、皆さんが提案した事業、予算立てをしたものに対して、我々が「本当にこれでいいんだろうか」「これはこんなに予算つけられない」と否決したら、皆さんのその事業はできないんです。だから、まずは皆さんは私たち議会を納得させるような提案をしてほしい、ということです。実際にそれが、予算が通って、実際にやりました、そうすると、成果はどうだったなという評価もやっぱりされるわけです。市民の皆さんからの評価もありますが、我々議会が今度は決算審査というのがありまして、若者議会のこの事業を行いました、「成果はどうでしたか。」「本当にこれだけの予算を使ってよかったんですかね。」という、そういう評価もあるんです。ですから、皆さんはそういうことも頭に入れつつ、でも、それを足かせにせず、伸び伸びと本当に我々とは違った新しい感覚の中で、我々の思いつかない事業をどんどん提案していただきたい。

ただ、皆さんがこれから若者議会の中で

テーマをいくつかきつと絞っていると思います。そうすると、自分がこれをやりたいというのをみんなそれぞれ持っているので、若者議会としては、これとこれとこれというように絞ってくると思うので、その時に、どんどんみんなで議論をしてください。我々市議会もそうなんですけれども、議員個人の意見は当然あります。議員個人の意見というのは、当然、自分の後ろにいる市民の皆さんの意見もあります。だけど、議員個人の意見というのは、はっきり言ってそんなに重くないです。それをみんなで持ち寄って、みんなで議論をして、議会の結論として、これがいいんだと決めたこの意見というのは非常に重いんです。ですから皆さんがこれから、いくつか具体的に事業を決めていく。決まったその事業というのは、皆さんの総意として、非常に重いものということですので、それぞれ、言いたいことを言い合って、具体的な事業を進めていっていただきたいなと思います。本当にあまりプレッシャーに感じず、自分たちの言いたいことを言い合って、そして、人の意見をしっかり聞いて、融合できるところを「じゃあこれもプラスしたらどうだろう。」という形で融合して、良い政策、事業の提案をしていただけるということを願っています。

どうかこの1年、皆さん学業もありますし、それ以外に、高校生の皆さん、大学生の皆さんもそれぞれの生活があると思いますけれども、ぜひこの若者議会、楽しんで、そして、良い成果が出せるよう頑張ってくださいと思います。我々もしっかりと皆さんの後押しをしたいと思いますので、どうか、プレッシャーに感じすぎずやっていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○原将翔議長

ありがとうございました。

本日は大変お忙しい中、下江市長、佐藤副市長、安形教育長、佐宗市議会議長、丸山副議長に御臨席賜り、まことにありがとうございます。

ございました。

また、若者議会のスタートに際し、議場を快く貸していただき、重ねて御礼申し上げます。

私自身、議長ということで不安な点もたくさんありますが、皆さんと一緒に、精一杯頑張っていきたいと思います。皆様、今後とも御指導の程、よろしくお願いいたします。

これをもちまして、令和8年度第1回新城市若者議会を閉会とさせていただきます。

閉 会 午後7時46分